

こっこめ通信 03 2025

「こんな日もあるさ」号

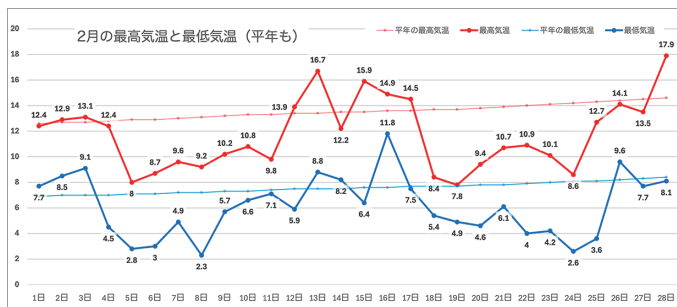


八丈島ではアカコッコのことを親しみを込めて
「こっこめ」とよびます。

前号で2月に八丈富士が白くなるでしょうか？と書きましたが、本当に白くなるとは。下のグラフを見ても分かる通り、八丈も2月は寒かったです。公園内には、毎年2月に咲き始めるオオシマザクラがありますが、今年はつぼみが堅いまです。28日から急に気温が上がり、堅いつぼみもビックリしているかもしれませんね。

さて、今回は「寒波襲来、山に雪」「八丈学講座『ザトウクジラを探そう』」「八丈小島のクロアシアホウドリの様子」についてのお話です。

寒波襲来、山に雪



2月に入ると連日、「●●に一度の寒波」がやってくるというニュースが流れていました。八丈島もその波に乗り、「●●に一度の寒波」がやってきています。

最初の寒波は5日から8日頃まで。この時はそれほど発達した雨雲（雪雲）が島まで辿り着かなかったため、霰（あられ）で山が一部、白くなる程度でした。

そして、第二弾の長い寒波は18日頃からやってきました。日に日に気温が下がり、寒気の底が24日でした。日中は霰が降るものの、ひらひらと舞う雪になることは無かったのですが、15時を過ぎた頃から気温は一気に急降下！16時10分には降り始めた雪と共に2.7°Cまで下がっています。

山は一気に雪が積もり、町中から見る三原山は黒と白のコントラストが不思議でした。八丈富士は、ふれあい牧場の辺りが白銀の世界になりました。残念ながら少し時間が経ってから登ったので、写真のように牧場の草が見え始めていました。島は暖かい海に囲まれているため、降った雪があっという間に溶け始めてしまいます。今回も翌日には元の景色に戻っていました。

島の雪景色は珍しいのでつい撮影してしまいます。(H.T.)



「アカコッコ」は日本固有のツグミ科の鳥で、国の天然記念物に指定されています。八丈島では一年を通して見られ、町の鳥にも選定されています。

八丈学講座「ザトウクジラを探そう」

2月22日、藍ヶ江の足湯きらめき下で、八丈学講座「ザトウクジラを探そう」を開催しました。2023年から始め、今年で3回目の開催となります。(今年の様子：写真右)

双眼鏡を貸し出し、クジラの解説をしながら、みんなで探しました。雨雲が時々かかる予報でしたが、開催中は雨も降らずひと安心。風が少し強く、沖に波があり、コンディションはあまり良くありませんでした。それでも36名の方が双眼鏡を覗き、その他にも解説を聞きながら一緒に探してくれた方もたくさんいました。しかし、一度のブローも確認できないというとても珍しい結果になってしまいました。本当ならば下の画像のようにテールや顔を上げた姿などを観察するはずだったのですが残念です。それでも今季初のウミネコの姿はしっかり観察できましたね。

翌日は朝から、ブローがたくさん観察できたとのこと。残念ながら当日は機嫌が悪かったのでしょうか？



2025.1.23 末吉洞輪沢



2025.1.11 三根あら池沖



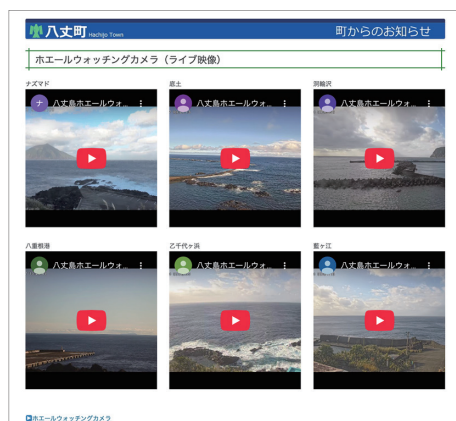
2025.2.22 中之郷 藍ヶ江漁港

八丈町では、津波監視を目的としたライブカメラを島内に設置しています。ザトウクジラが滞在する期間は、このライブカメラがホエールウォッチングカメラとして機能し、ライブ映像に加えて12時間前まで遡って確認できるようになっています。(画像右 八丈町ホームページ)

このカメラは、今回行事を開催した「藍ヶ江港」の他、「ナズマド」「八重根港」「乙千代ヶ浜」「洞輪沢」「底土海水浴場」の合計6ヶ所に設置されています。

世界中から、場所・時間を問わず、八丈島のザトウクジラの様子が見られる時代になりましたよ。(H.T.)

ライブカメラのQRコード➡

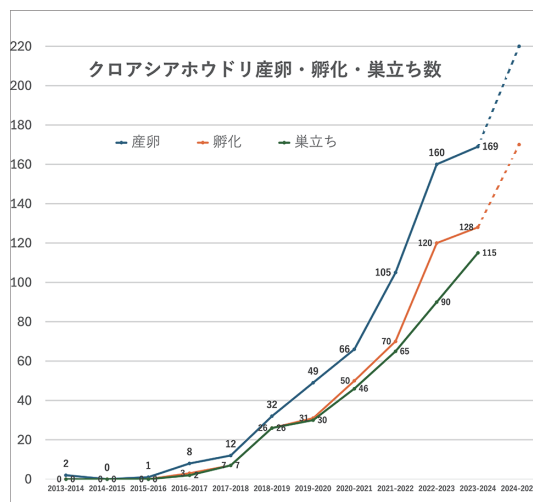


八丈小島のクロアシアホウドリの様子

今シーズンも順調に八丈小島の鳥打地区にクロアシアホウドリが産卵に戻ってきていると、伊豆諸島自然史研究会の方から情報を頂きました。(今の時期は孵化してヒナになっています)

自然史研究会の調査によると、昨シーズン(2023-2024)は169個の卵が確認され、今シーズン(2024-2025)は200個以上の卵を確認したとのこと。昨シーズンと同じ75%の孵化率だとすると150羽以上のヒナが誕生することになります。今シーズンは、猛禽類やハシブトガラスに襲われることも少ないようなので、それ以上のヒナが誕生するかもしれません。

昨年、一昨年とヒナにピンクの足環を装着しましたが、今シーズンも装着するそうです。ピンクの足環のクロアシアホウドリが沢山見られる日も、そう遠くないかもしれないですね。(H.T.)



八丈植物公園季節調査会の報告

今回は3名の参加者とスタッフ2名で行いました。冷たい風が吹いていましたが、日だまりは温かったです。太陽の有り難さを再認識しました。今回はブーゲン広場を中心に調査を行いました。

ブーゲンビリアの石畳の周りにたくさんのノジスミレの仲間が咲いていてました。この時期に見られるアツバスミレとの区別が難しくなり、最後にアツバスミレを探して違いを観察する事にしました。アツバスミレの花が咲いていなかったの、葉を比べて違いを観察しました。次回は花も比べられるといいですね。(M.K.)

八丈植物公園季節調査 2025 年 2 月 9 日 (日)、天気：くもり、気温：12.9℃

調査者：青木、沖山、西喜 VC：木下、玉置

1	ヤブニッケイ	熟した実残る			
2	タコノキ	気根の長さ 63cm、太さ 10.5cm、雌株に実			
3	オオタニワタリ	最長丈 118cm、幅 16.3cm、胞子あり			
4	ニオイウツギ	葉、実が落ちたあとの殻が残る			
5	ニオイパンマツリ	蕾 2 つ			
6	オオシマザクラ	冬芽がたくさん			
7	アオキ	花芽	33	チガヤ	実
8	アオツツラフジ	実	34	チチコグサ	花
9	アオノクマタケラン	実	35	ツルグミ	蕾・花
10	アキノノゲシ	実	36	ツルソバ	花・実
11	アシタバ	種	37	ツワブキ	花・実
12	アツバスミレ	閉鎖花	38	テイカカズラ	実
13	イヌビワ	実残る	39	トベラ	実
14	イワニガナ	花	40	ナガエコミカンソウ	実
15	ウスベニニガナ	花・実	41	ノゲシ	花
16	オオアリドオシ	実	42	ノジスミレの仲間	花・閉鎖花
17	オオアレチノギク	蕾・花	43	ノシラン	実
18	オオシマカンスゲ	花	44	ハゼノキ	紅葉・実残る
19	オオムラサキシキブ	冬芽・実	45	ハチジョウアザミ	花
20	オニタビラコ	蕾	46	ハチジョウキブシ	花芽
21	オニドコロ	実	47	ハナイバナ	花
22	ガクアジサイ	実	48	ハルジオン	蕾・花
23	カジイチゴ	新葉	49	ヒガンバナ	葉
24	コナスビ	花	50	ヒサカキ	蕾
25	サカキカズラ	実	51	ヒナギキョウ	蕾・実
26	シチトウスミレ	花	52	ヒノキバヤドリギ	
27	シマクサギ	実	53	ヒメユズリハ	実
28	シマテンナンショウ	花	54	ブーゲンビリア	花
29	シマモクセイ	実	55	フウトウカズラ	実
30	センダン	実	56	ホルトノキ	実残る
31	タイミンタチバナ	蕾	57	ムラサキカタバミ	蕾
32	タネツケバナ	花	58	モンステラ	実
			59	ヤツデ	実
			60	ヤブツバキ	花
					シダ植物
			1	イシカグマ	
			2	ウチワゴケ	
			3	オオイタチシダ	
			4	オニヤブソテツ	胞子囊
			5	カニクサ	
			6	スギナ	
			7	タチクラマゴケ	紅葉
			8	タチシノブ	
			9	タマシダ	
			10	ナチシケシダ	胞子囊
			11	ノキシノブ	胞子囊
			12	ハチジョウカナワラビ	胞子葉
			13	ハチジョウシダ	
			14	ハマハナヤスリ	胞子葉
			15	ヒトツバ	
			16	ヘゴ	
			17	ヘラシダ	胞子囊
			18	ホシダ	
			19	ホラシノブ	
			20	マツバラソ	
			21	マメツタ	胞子葉
			22	ミゾシダ	

八丈島では、内地と少し様変わりした種や独自に進化した種など、聞き慣れない種があるのが特徴です。今回は、公園内でたくさん見られる「ノジスミレの仲間」にスポットを当ててみたいと思います。



ノジスミレの仲間

ケナシノジスミレ？ (*Viola yedoensis* f. *glaberrima* ?)

スミレ科スミレ属。急速に島の中で勢力を拡大しているスミレ。ノジスミレは葉に微毛がありますが、このスミレには毛がありません。

「鹿児島県や八丈島など、暖かい地方で見られ、植物体全体に毛がないものをケナシノジスミレ」と記載のある図鑑がありますが、詳細が不明のため、ビジターセンターでは「ノジスミレの仲間」としています。

2025 03

八丈ビジターセンター プログラムカレンダー

日付の下に書かれている時刻は、八丈島(神湊)の潮の満ち引きの時刻です。
また日付の横は月の満ち欠けです。

日	月	火	水	木	金	土
この色の日は ガイドウォークや 特別行事があります						1 ガイドウォーク 07:26 18:49 00:42 13:02
2 ガイドウォーク	3	4	啓蟄 5	6	〇 7	8 ガイドウォーク
9 ガイドウォーク 植物公園季節調査会	10	11	12	13 特別講演会「～島の 生き物が教えてくれ る～ ここが凄い！ 八丈島と八丈小島」	〇 14	15 ガイドウォーク
16 ガイドウォーク	17	18	19	春分 20 ガイドウォーク	21	〇 22 ガイドウォーク 八丈学講座「大人クラフト 蔓かごを編もう」
23 ガイドウォーク	24	25	26	27	28	● 29 ガイドウォーク
30 ガイドウォーク	31					

イベントプログラム

植物公園季節調査会

植物公園内で動植物の調査をしながら季節の変化と一緒に感じましょう！
3 / 9 (13:30～ 約1時間半)
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

特別講演会

「～島の生き物が教えてくれる～
ここが凄い！八丈島と八丈小島」

筑波大学上條隆志教授をお招きし、生きものを知ることでわかる、八丈島・八丈小島の凄さを紹介してもらいます。
3 / 13 (19:30～ 約1時間半)
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：55名

八丈学講座

「大人クラフト 蔓かごを編もう」

毎月行っている八丈学講座。クズの蔓を使ってかごを編みます。
3 / 22 (13:30～ 約1時間半)
中学生以上 ビジターセンター集合・解散 参加費：無料 定員：10名

植物公園ガイドウォーク

解説員が植物公園内をご案内します。
毎週 土日祝日及び休日、(10:30～約1時間) だれでも参加できます。
ビジターセンター集合・解散 無料 定員：10名

ビデオプログラム

10:00～ 八丈・海・生きものたち
11:00～ おじゃりやれ 八丈島
14:00～ おじゃりやれ 八丈島
15:00～ おじゃりやれ 八丈島
16:00～ 八丈・海・生きものたち
上記以外での上映は予約にて可能です

東京都八丈ビジターセンター 2025.3.1 第286号

開館時間 9:00～16:45 年中無休(入場無料)

〒100-1401

東京都八丈島八丈町大賀郷2843

電話：04996-2-4811 Fax：04996-2-4888

<https://www.tokyo-park.or.jp/park/hachijo/>

編集後記

「ザトウクジラを探そう」に参加してくれた方が、飛行機に乗る前に「クジラを見ました！」と報告をしにきてくれました。寒い中、最後まで一緒に探してくれた方なので、見られてホッとしました。来年の2月もリベンジで「ザトウクジラを探そう」は実施します。(H.T.)